

# 留萌市における地域公共交通活性化・再生総合事業（計画事業 1年目）

## 留萌市地域公共交通総合連携計画の目標

- ・地域と生活特性に即した運行形態による移動手段の構築
- ・待合所機能の整備とともに中心市街地と公共交通の連携体制の構築
- ・市民へのバス利用の啓発及び情報発信ツールの整備
- ・利用環境のバリアフリー化と冬季の利用環境の向上

## 22年度総合事業計画の概要（実施状況を一部含む）

### 1) 小型乗合バスの実証運行

**運行期間** : 平成22年11月1日～12月30日  
**運行ルート** : 日東団地線 美晴町6丁目～留萌駅～留萌市立病院（往復）  
 千鳥町線 自由ヶ丘会館～留萌駅～留萌市立病院（往復）  
**運行本数** : 平日6便、土日祝日4便  
**運賃** : 大人:210円 小人:110円 一日乗車券:500円  
**運行事業者** : 沿岸バス（株）

### 2) 予約型乗合タクシーの実証運行

**運行期間** : 平成22年11月1日～12月30日  
**運行ルート** : 買物線 春日町市営住宅前～留萌駅～錦町（主要商業店舗）（往復）  
 病院線 春日町市営住宅前～留萌駅～錦町・留萌市立病院（主要医療機関）  
**運行本数** : 平日1～4便、休日2便（土曜日は運休）  
**運賃** : 大人:300円 / 1回  
**運行事業者** : 小鳩交通（株）

## 留萌市地域公共交通活性化協議会開催状況

平成22年9月8日（水）

第8回留萌市地域公共交通活性化協議会を開催

< 主な協議事項 >

平成22年度事業について

1) 実証運行について

2) 中心市街地と地域公共交通の連携について

**普通バスが走っていない地域に  
バスが走る実証運行開始!**  
 平成22年  
11月1日(月)～  
12月30日(木)  
21日(祝)も毎日運行  
※1日乗車券あり

留萌市地域公共交通活性化協議会では、再生策を行った路線運行促進や地域の方々の意見を  
もとに、普通バスが走っていない地域（公共交通空白地域）にはバスが走る実証運行を行います。  
 実証運行には、アンケート調査を行いますのでご協力をお願いします。

**※ 路線** ① 遊学（登下校）、通勤（及び帰宅）時間帯に配慮した運行時刻を設定し、  
平日中は留萌市立病院へ向かう運行時刻を設定。（下り変更予定）

**※ 運行ルート**  
 ① 日東団地線  
 留萌町5丁目⇄留萌駅⇄留萌市立病院（1便、2便、3便）  
 ② 千鳥町線  
 自由ヶ丘会館⇄留萌駅⇄留萌市立病院（1便、2便、3便）

**※ 運賃**  
 大人:210円・小人:110円・一日乗車券(乗り放題):500円  
 ※ ご注意※  
 ※ 引当人数の超過時、定額券・乗車券の各乗車券は利用できません。  
 ※ 一日乗車券は乗車開始時刻及び乗降時刻の間の有効です。本路線乗車券は利用できません。

**時刻表は中継中です** [お問い合わせ]  
 留萌市地域公共交通活性化協議会  
 事務局:留萌市市民生活課生活環境部地域生活課  
 電話:0164-42-1806 FAX:0164-42-9277  
**ルートとバス停は中継中です**

### 実証運行チラシ

**実証運行チラシ**  
**春日町、元町、船場町にお住まいの住民の方限定!**  
**乗車1回につき  
¥300円!**  
**予約型  
乗合タクシーに乗ろう!**  
 予約日:平成22年11月1日(月)～12月30日(木)

予約型乗合タクシーとは利用したいときに、事前に電話で予約をしてから、  
 停留所から目的地(停留所)まで送迎する乗合方式のタクシーです。

**【利用者の資格】**  
 ●春日町、元町、船場町にお住まいの住  
 民の方限定し、利用することができます。  
 ●利用される方の乗車券は限りません。

**【利用料金】**  
 ●乗車1回につき300円です。  
 ●乗車料金は、乗車時にドライバーに  
 現金払いでいい。

**【運行概要】** ●運行本数  
 11月4日(4日)運行します。  
**運行タイプ**  
 乗降予定時刻も設定していますが、利用したい時刻が予約がない場合は、運行しません。  
**運行ルート**  
 ●運行ルートは春日町⇄船場町ルートです。

**ルートと時刻は中継中です** [お問い合わせ]  
 留萌市地域公共交通活性化協議会  
 事務局:留萌市市民生活課生活環境部地域生活課  
 電話:0164-42-1806 FAX:0164-42-9277  
**時刻表と利用方法は中継中です**

### 3) 小型乗合バス



### 4) 予約型乗合タクシー



### 5) 中心市街地との連携



乗車によりたまる  
ポイント券 ▶



### 6) 地域公共交通セミナーの開催

本セミナーは、交通事業者、地域住民などを対象として、これからの留萌市における地域公共交通の事業運営のマネジメントについての議論を通じて、地域公共交通に対する周知、ならびに地域住民の理解を深めていただくことを目的として開催する。



セミナー (ワークショップ)



セミナーチラシ



セミナー (基調講演)

## 22年度事業の実施状況

### 1) プロセス、創意工夫

平成21年の運行結果による課題、ならびに公共交通空白地域における町内会での地域懇談会により出された意見を踏まえ、平成22年度の実証運行における運行ルートダイヤを設定した。

小型乗合バスは、待合機能のある中心市街地のるもいプラザ前での既存路線バスへの乗継ぎを基本に運行ルートダイヤを選定。

1～3便は、留萌市立病院まで運行。また、学校への登下校時間帯に配慮した時刻を設定。

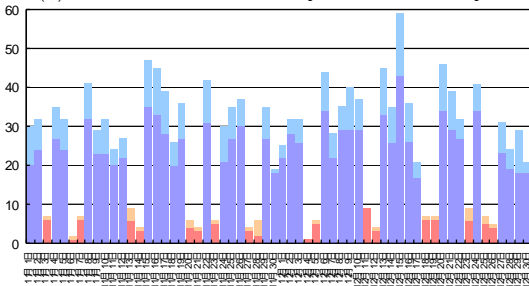
中心市街地との連携を図るために、市内路線バス利用者も対象に商店街での割引サービスを受けられるポイント券を配布。

予約型乗合タクシーは買物線、病院線について、市内の商業店舗、主要医療機関を巡るルートバス停を設定。

予約型乗合タクシーは、降車時は利用者の降車希望の場所で下車が可能。

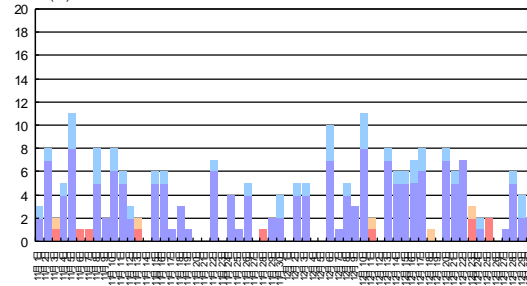
### 3) 利用実績

小型乗合バス (日東団地線)



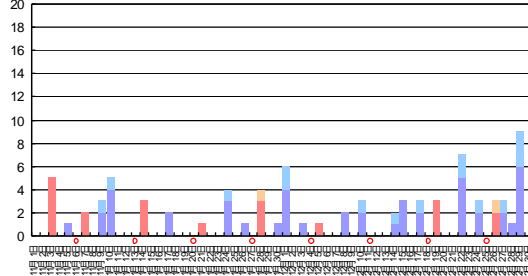
■ 乗上り平日 ■ 乗下り平日 ■ 乗上り休日 ■ 乗下り休日

小型乗合バス (千鳥町線)



■ 乗上り平日 ■ 乗下り平日 ■ 乗上り休日 ■ 乗下り休日

予約型乗合タクシー



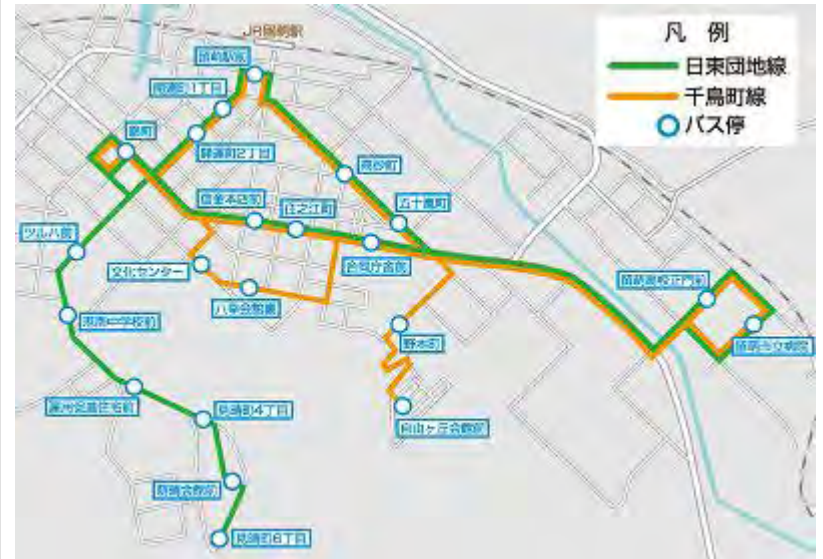
予約型乗合タクシー

運休日

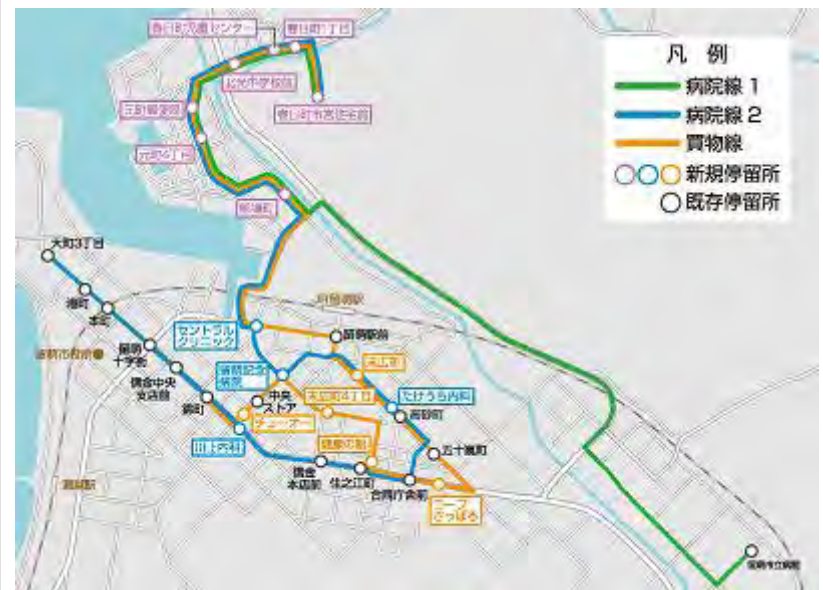
■ 乗上り平日 ■ 乗下り平日 ■ 乗上り休日 ■ 乗下り休日

## 2) 運行ルート

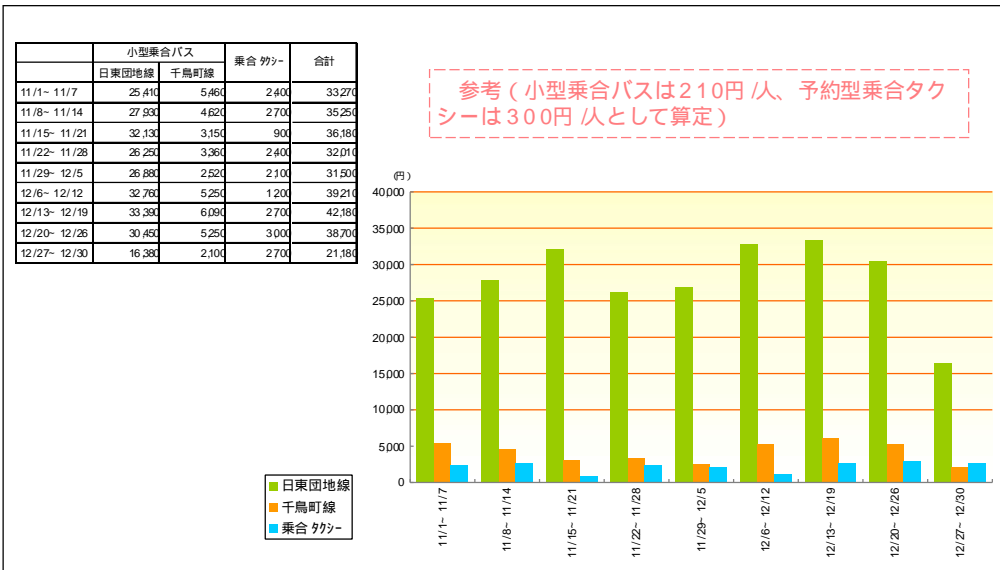
小型乗合バス (日東団地線・千鳥町線)



予約型乗合タクシー



## 4)収入実績



## 5)事業実施効果

・小型乗合バスでは、実証運行が経過するにつれて利用者数が増加傾向となった。

・冬の有雪期を迎え、さらに利用者数が増加傾向となった。

・特に、日東団地線では、特に朝1便の利用者数が多く、学校通学、病院への通院等による利用者数が非常に多く見られた。

・交通事業者、地域住民などを対象としたセミナー、ワークショップ等の開催により、多くの参加者が集まり、地域公共交通における興味の高さが伺えた。

・中心市街地との連携については、バス利用者に対してポイント券等の配布により、ポイント有効活用及び交換のために中心市街地へ訪れる利用者が増えると想定される。

## 6)今後の課題

・予約型乗合タクシーでは、事前に周知・広報などを行ったもののシステム理解の難しさ、公共交通ニーズを持つ住民に浸透には時間を必要とすると考えられる。そのため、高齢者でも使いやすい運行システムの検討や、その仕組みを理解してもらうための周知の取組みが必要。

・冬期(有雪期)に入り、利用者数はさらに増加傾向となったことから、厳冬期にあたる1~3月などにおける本格的な冬期実証運行が期待される。また、無雪期とは異なる冬期環境に応じた利便性の高いフレキシブルな運行システムの検討が必要(例えば、降車時はルート上であればどこでも下車が可能、など)。

・ポイント券配布による中心市街地と連携による取組みは活性化に有効手段の一つであるが、商店街の事業者等を含めさらに連携強化や利用促進へつなげていくための検討が必要である。

・小型乗合バスでは路線毎に利用者数に大きな差が見られることから、乗降客数に応じた適切な車両規模による運行の検討が必要。

・また、時間帯によって乗降客数に大きな差が見られることから、利用者数の減少する午後以降の時間帯や休日等における利用促進に向けた取組みの検討が必要である。

・地域公共交通の自立的な運営へつなげるため、事業採算性の視点を含め、交通事業者を含めた地域における公共交通の担い手など、維持・確保に向けた取組み・検討が必要である。

### 自己評価のポイント

・日東団地線については、時間帯、時期によっては一定程度の利用者を確保できることが確認された。

・千鳥線については、利用者数が少ないため、持続可能な交通とするため、課題の整理等再検討が必要。

・デマンドタクシーについては、利便性は確実に向上するため、事業の周知、収支率の向上、運行を継続させるシステムの確立が課題。

・公共交通と商店街の連携事業では、双方の利用促進が図られるための工夫等が必要。

### 二次評価のポイント

・自己評価のとおり。

・持続性を考慮し、地域に適した交通体系を構築するよう期待する。